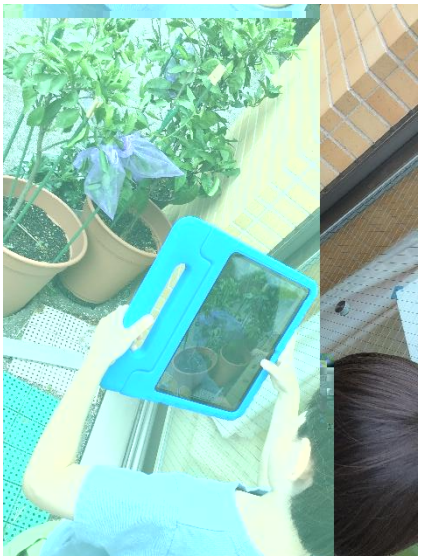
とうきょうすくわくプロジェクト活動報告書 2025 年度後期

社会福祉法人崇仁会　用賀みこころ保育園

◎活動テーマ　『育てて食べる』

◎実践と振り返り（８月）

① 虫除けスプレーを作り、毎週月・水・金に散布する事を決めると、「今日は虫除けまく日だよね！」と意識を向けていた。
ニンニクや木酢の香りが強く、スプレーから顔を遠のけながら散布し、食物の生長に期待を膨らませていた。



② スプレーの効果がどう影響して来るのか、すぐに目に見える形で変化しないため、子どもたちの虫除けスプレー散布への意欲が薄れていく。
そこで、変化の経過が分かるよう、写真撮影を行い日々の変化を記録した。

夏野菜を育て始めて約 3 カ月が過ぎ、クラス全員が 2 巡目の収穫を体験していた。
1 回目の収穫物より小ぶりになり、苗が伸びきったり、暑さのせいで苗が弱る様子が見られ、これ以上の生長を望めない環境にあったりしたため、スプレーの効果を追うには少し難しい時期となった。
新たな苗を育て、変化を追えるようにしようと相談して、苗の購入をした。

③ 野菜の収穫も 2 巡目を迎え、それぞれが、オクラ、ナス、トマト、エダマメと収穫の体験を積むことが出来た。
収穫できた満足感を味わうと共に、「スプレーのおかげで収穫できたんじゃない？」と喜びを友達と共有していた。
いっぱいスプレーを撒いたらもっともっと（苗が）強くなるのかな？という新たなつぶやきが出る。
そのつぶやきを聞いていた他児が「だめだよ！虫よけスプレーは 1 日 2 回までってママが言っていた！」と人体用の虫よけスプレーの使用方法と照らし合わせて、生活体験から考えを共有し合う姿があった。
結果、掛け過ぎはよくないということになり、1 日 1 回。雨の後は薬が流れるので、撒き直すという目安を決めて実視することになった。

◎実践と振り返り（９月）

④　収穫し実際に見て触れた事から「どうしてトマトに黒い点が付いているの？これは砂？虫？食べられるの？」「同じ苗から収穫出来たのにどうして形が違うのかな？」「苗に近い方より、遠い方が小さいよ。後から赤くなるし」等と次々と疑問が生まれてきたので、マイクロスコープで見たり重さや長さを測れるように定規や分量計を提供した。「発見した事忘れないで皆に知らせたい」という思いが出てきていたので、ノートに記してはどうかと提案した。
『はっけんの一と』として、気付きをみんなで一冊のノートにまとめる事にした。自分と違う友達の観察を知る共有共感の機会になった。

⑤　マイクロスコープで観察すると「なんか、粒粒がいっぱいある！」「黒い点々だけじゃないよ、黄色い点々もある！」「毛が生えている、すごいいっぱい！」など、表面や断面から見て取れる事、自分で見つけた喜びから、夢中になってマイクロスコープを覗いていた。

・　気付きを他者に伝えたいと言う思いから、自発的に『はっけんの一と』に記し、見つけた事を「私は〇〇だと思うけど。〇〇はどう思う」と聞き合ったり「良く見つけたね」と嬉しそうに認め合う姿が見られた。

・子ども達に、興味発見を楽しむ様子が見られるようになったが、素朴な疑問などについては、すぐに回答できない事も多くあった。
・「葉脈って何？」「トマトは生きてるけど心臓はあるの？」「生きてるって？」と次々と出てくる素朴な疑問、「どうしてだと思う？」と聞き返すことで、自分で考える力は育てられるが、子どもの疑問を解消する事にはならない為、疑問をそのままで終わらせないために、iPad の検索アプリを使用し、今知りたい事を探して、クラスで共有した。
・図書館へ行き、図鑑などで調べる方法もあったが、猛暑のせいで遠距離移動が厳しいことや、調べる手段の一つとして、インターネットが家庭でも身近にある教材であることから、子どもたちと話し合って、iPad を使用することにした。
・便利な環境で色々な物に頼れる時代だが、子どもの主体性にどこまで任せて経験させ、学びに繋げていくのか、提供方法や情報への繋がり方等、保育者の関りだけでなく、細部に意識を向ける必要性を感じた。

⑥「あれは軽いから浮くよ！」「穴に水が入って沈みそう！」「多分ピーマンの中は、種が少ししかないから、浮き輪みたいになって浮くんじゃない？」「重かったからキャベツは沈むよ！」と予想を立てながら、自分の番を待つ。
予想が外れ、重いものが全て沈まない不思議に「なぜ？」の顔。

全ての子どもが自身で気付ける訳でなく、友達の発見や何かをきっかけにひらめくこともあるため、新たな情報提供として栄養士と連携を図り、水に浮く野菜沈む野菜の実験を３・４・５歳児で実施した。初めに、全ての野菜の重さや匂い、感触等を体験してから、実験する物を選び実施。

⑦　栄養士からのヒントで、地上になる野菜は雨などの水で沈まないように浮く性質になっている。一方、土の中に実る野菜は、地上に浮かんで出てこない為に、沈む性質になると言う事を学んだ。実験にない野菜を思い浮かべ、「トウモロコシは土の上の実だから沈まないのかな！」と自ら引き出し、自分の考えが正解になるだろうと、次の実験にわくわくしているのが伝わってきた。